

令和5年度 第1回 犬山市地域公共交通会議 議事要旨

日時：令和5年6月23日（金）午前10時～

場所：犬山市役所2階 205 会議室

出席者：19名中16名

1 開会

【事務局】 開会の挨拶を行う。

【本田委員】 「活発で良い議論ができる会議のために」を用いて、本会議の意義について説明。

2 あいさつ

【事務局】 犬山市地域公共交通会議の委員数19名に対し本日は16名が出席で、過半数をこえているため、本日の会議が成立していることを宣言する。

傍聴者（5名参加）について、説明を行う。また、代理出席、配布資料について説明を行う。協議事項の質疑応答のため、国際開発コンサルタンツ（1名）の出席を報告する。

3 議事

（1）会長・副会長・監事の選任

【事務局】 犬山市地域公共交通会議規則に基づき、会長の選任について、委員からの互選を促す。

【安藤和委員】 磯部委員を会長に推薦したい。

全会一致で磯部委員が会長に就任する。

【磯部会長】 挨拶を行う。

【磯部会長】 副会長は武内委員にお願いします。監事について、事務局の推薦はあるか。

【事務局】 森岡委員、宮部委員に依頼したいと考えている。

【磯部会長】 監事は森岡委員、宮部委員とする。議事録署名者には花村委員、早川委員の2名を指名する。

（1）協議事項

①生活交通確保維持改善計画（案）について

【事務局】 資料1-1, 1-2の説明を行う。

【本田委員】 本会議と市民の皆様の意見を積極的に取り入れて進めていきたい。

【磯部会長】 異議がなければ承認ということでよろしいか。

【委員】 異議なし。

【磯部会長】 全員一致で協議が調った。

②地域公共交通計画（案）の策定について

- 【事務局】 資料2の説明を行う。
- 【安藤和委員】 施策⑨について、自家用有償運送についてはどう考えているか。
- 【事務局】 自家用有償運送は、市としてまだ検討していない。今のところ、コミュニティバスに加えてデマンド交通や一般タクシーの活用を考えている。
- 【磯部会長】 そういった仕組みはあるので、今後参考にしてはどうか。
- 【本田委員】 施策⑩について、少し漠然としているが、現時点でどのような取り組みを想定しているのか。
- 【事務局】 前回会議でいただいた「パートナーシップ」というキーワードを反映させたもの。他の事業者と話し合いもできていないが、商業施設やタクシー事業者、町内会など、色々な方向性でコミュニケーションをとっていくと、より連携のとれた公共交通となる可能性があり、現時点では漠然としているが記載している。
- 【本田委員】 市に任せるのではなく、委員が協力するべき。色々な意見を積極的に出していけば、より良いコミュニケーションがとれる形になっていくのではないかと。
- 【松浦委員】 施策⑪について、非常時のためだけに電気バスを導入するのは考えづらい。まずは環境負荷低減という目的があり、ついでに非常用電源、という順ではないか。
- 【事務局】 市としては路線バスで電気自動車を使う意思表示ではなく、バスに限らず普通車も含んでいる。犬山市で電気自動車を買うことも考えられるし、協定を結ぶことで交通事業者が購入したものを災害時に活用させていただくということも考えられる。そういった災害時に活用できる車両の導入という意味合いで記載している。
- 【磯部会長】 公共交通計画なので、まずは乗り物として、交通の視点で記載してほしい。
- 【事務局】 交通で使う延長線上で非常用として使うという方向で記載を修正する。
- 【花村委員】 実施主体の順番に意図はあるのか。また、施策⑤はわん丸君バスの話に寄っているが、他の公共交通でも検索やタクシー配車が可能。施策⑬については、地域へのPRは出来るが、観光となると対象が増えるので、デジタル技術を活用していかなければ情報が届かないのではないかと。全体的に情報提供も含めてデジタル技術の活用を検討してほしい。
- 【事務局】 実施主体については、順序をもう一度精査したいと考えている。デジタル技術についても、既に民間事業者が実施していること等を盛り込み、修正していきたい。
- 【宮部委員】 施策④に関して既に「バスまちば」を実施している。施策⑥について岐阜バスではマナカの導入を進めている。施策⑰についても明治村やリトルワールドといった観光施設との連携を実施している。
- 【磯部会長】 記載はしているが、既に実施している事等もう少し詳細を追記したいということ。
- 【事務局】 詳細を追記することとする。
- 【磯部会長】 いただいた意見を踏まえて、事務局に修正を加えてもらいながら進めていくということによろしいか。
- 【委員】 異議なし。
- 【磯部会長】 全員一致で協議が調った。

③わん丸君バス再編について

- 【事務局】 資料 3-1、3-2 の説明を行う。
- 【花村委員】 栗栖・富岡線について、犬山駅から富岡前駅にわん丸君バスでも行けることになるので、鉄道の利用者減少につながる可能性もあるかもしれない。
- 【事務局】 栗栖・富岡線は富岡前駅のあと、少し遠回りして犬山駅に向かうことや、鉄道利用者の方は犬山駅から更に名古屋等へ移動する方が多いと思われるので、電車利用への変化はあまりないと考えているが、犬山駅で降車の場合は少し影響があるかもしれない。
- 【工藤委員】 入鹿・羽黒線について、上 2 便の出発時刻を 8:40 に調整してほしい。下りの所要時間が 42 分になっているが、上りと同じ 44 分に調整してほしい。
- 【事務局】 再度調整する。
- 【磯部会長】 いただいた意見を踏まえて、事務局に精査してもらうということで承認してよろしいか。
- 【委員】 異議なし。
- 【磯部会長】 全員一致で協議が調った。

④わん丸君バス パス券の追加販売について

- 【事務局】 資料 4 の説明を行う。
- 【森岡委員】 夏休みは 7 月 20 日くらいからになるので、4～6 月のパス券と併用すると空白期間ができるということか。それなら 1 ヶ月券も作ったらどうか。
- 【事務局】 短い期間については回数券で対応してほしい。回数券は 11 枚綴りで 2,000 円、期限もないので利便性は高い。
- 【磯部会長】 6 ヶ月、3 ヶ月、回数券と種類が多くあるので、それぞれの違い、使い方の周知が必要となる。他にご意見ないようであれば承認してよろしいか。
- 【委員】 異議なし。
- 【磯部会長】 全員一致で協議が調った。

(3) 報告事項

①令和 4 年度犬山市地域公共交通会議決算報告

- 【事務局】 資料 5 の説明を行う。

②犬山市デマンド交通運行業務委託の結果について

- 【事務局】 資料 6 の説明を行う。
- 【安藤和委員】 交通不便地域の方への対応をどうするか。デマンド交通や自家用有償運送等いろいろな選択肢がある。将来を見据えて考えるべき。

③わん丸君バス 利用実績等報告

- 【事務局】 資料 7 の説明を行う。
- 【磯部会長】 他の交通事業者から、利用者数の状況を報告してほしい。

- 【花村委員】 名鉄の利用者はコロナ前と比較すると 90%程度となっており、通学はほぼ 100%、通勤は 85%の状況。
- 【宮部委員】 岐阜バスの路線バスの利用者はコロナ前の 80%程度となっている。犬山地域では明治村線が 103%、リトルワールド線は 127%となっている。定期券はコロナ前まで回復したが、現金利用者は戻っていない。
- 【安藤和委員】 タクシーは、昼間の需要は戻っている。飲食店の営業状況の変化が要因のひとつと思われるが、夜の飲食の傾向が変化したことで、夜間の利用はかなり減少している。
- 【磯部会長】 それぞれ少しは上向いているが、公共交通の使い方が変化してきている。それを踏まえた新しい事業展開が必要で、利用者も利便性の良い利用方法を考えていきたい。

(4) その他

- 【早川委員】 速度超過による交通死亡事故の発生、電動キックボードのルール改定による公共交通への影響について説明。

4 閉会

- 【磯部会長】 以上をもって本日の議事を終了する。

- 【事務局】 閉会の挨拶を行う。次回会議の案内をする。
令和 5 年 8 月 28 日（月）14:00～実施する。

以上

令和 5 年 7 月 1 8 日

本書は、令和 5 年 6 月 2 3 日に開催された犬山市地域公共交通会議の議事要旨に相違ないことを証する。

署名人 花村 元気

署名人 早川 健太
